

第11回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年3月13日 20時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第11回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○東内閣府副大臣

・生存者の水，食料の確保について，避難所，孤立集落など不足している箇所の把握を早急にしてほしい。

○村井災害対策本部長

- ・水，食料の不足している地区の把握に努め，国に早急に伝えてほしい。
- ・燃料の必要箇所の優先順位をつけて対応してほしい。

○小野寺危機管理監

- ・17時58分に津波注意報解除された。
- ・人的被害は，市町村報告分で死者297名，行方不明者398名。
- ・要望以外で，食料15万食が本日中に国から届くことになった。
- ・燃料が60万リットル不足しており，本日中に対応して欲しいと国に依頼中。これが満たされないと，明日中に燃料がショートする地域が出る。
- ・テントの設置について，東北管区警察学校に設置することになった。

○東内閣府副大臣

- ・東京自体が厳しい状況だが，燃料の件は何とか対応したい。

○村井災害対策本部長

- ・事務局長も把握していると思うが，優先順位を上げて対応してほしい。

○仙台管区气象台

- ・気象状況（資料内容）

○今野総務部長

- ・県庁への避難者，職員安否，施設被害等の状況（資料内容）

○佐藤企画部長

- ・交通機関，電力，情報システム等の状況（資料内容）

○小泉環境生活部長

- ・職員安否，女川原発，水道施設の状況等（資料内容）

○岡部保健福祉部長

- ・応急仮設住宅の市町村ごとの具体的な必要世帯数を把握するには，かなり時間がかかる。第一弾ということで，土木部を通じて要請を進めていきたい。
- ・岩手県は8，800戸，福島県は原発避難者を除き1，500戸を予定しているらしい。阪神淡路大震災の数字を参考にすると，宮城県では10，000戸は必要だろうと思っている。経費は600億円程度になる。

○千葉農林水産部長

- ・保安林が津波により被災している。
- ・荒浜で200体ほどのご遺体が収容できずにいる。原因は，13平方キロメートルの冠水部分があり，陸からのアクセスが出来ないため。
- ・排水機4基は，すべて津波のため機能停止しており水がはけない。
- ・約1，300万立米の水を国交省のポンプで排水してもらえると遺体が早く収容出来るのではないか。協力をお願いしたい。

○政府現地災害対策本部

- ・今ポンプを導入しているので，優先順位を検討する。

○村井災害対策本部長

- ・職員派遣については，岩手宮城内陸地震においては，派遣職員と市の職員の意見が合わないことがあったので，その場合は，市長の判断のもとに行動すること。
- ・片山総務大臣に，私から震災復興基金の創設を要望している。知事会を通して各部署から提出したものを一部削っているが，これは国で対応可能なものとしている。追加があれば企画部長へ提出してほしい。
- ・火葬場の提供について知事会への要望として追加されたい。
- ・仮設住宅の準備を進めてほしい。市町村における必要戸数や民間アンケートの対応数を把握しておくこと。
- ・公営住宅の確保について，不動産協会にも行って，早急に調整してほしい。
- ・計画停電に関し，供給物資のパンは，製造が停止すると被災地への供給が困難になるので，国の災害対策本部に連絡要請すること。

○橋本土木部長

- ・阿武隈下水は壊滅的な状況なので，貞山運河へ流すことにしたい。

○村井災害対策本部長

- ・土木，農水，環生と調整し，国とも調整してほしい。早急に。

○自衛隊

- ・活動状況について（資料内容）

○竹内警察本部長

- ・遺体収容数等について（資料内容）

○東北電力（株）

- ・停電等の状況（資料内容）

○小林教育長

- ・学校等の被害状況等（資料内容）

○伊藤企業局長

- ・水道施設の被害状況等（資料内容）

○河端経済商工観光部長

- ・各課所管施設等の被害状況（資料内容）

○村井災害対策本部長

- ・遺体搬送作業への支援はどうか。

○小野寺危機管理監

- ・できる範囲で対応していく。

○村井災害対策本部長

- ・山元町の要望に対する対応はどうか。

○小野寺危機管理監

- ・食料は対応可能であるが，衛星携帯電話はドコモから借用しており，気仙沼等に対応していること状況だが，山元町への対応についても確認する。

○村井災害対策本部長

- ・出来るものと出来ないものを経商部と災害対策本部とで調整してほしい。出来ないものは，いつだと可能になるか調整すること。
- ・燃料については，一端，宮城テレビ，東北放送の分を対応してほしい。両局は明日にも枯渇することから，報道に支障が生じる。

- ・ヘリが相当増えている。区域統制は自衛隊で行っているのか。

○小野寺危機管理監

- ・運航調整班が行っている。自衛隊，仙台市，県，海上保安庁から成り，マスコミの区域制限を依頼している。

○村井災害対策本部長

- ・災害ボランティアについて，国の方で「政府ボランティアセンター宮城」を創設して被災地と調整して欲しい。

○東内閣府副大臣

- ・政府で調整する。

○村井災害対策本部長

- ・東日本高速道路の社長に電話したところ，災害従事車両証明書があると高速道路は無料とのことなので，タンクローリーや食料輸送等用の災害用従事車両については，危機対策課で対応願う。

- ・高速道路のサービスエリアのガソリンスタンドの利用ができないか話をしている。使えるスタンドの調整を明日の朝までに総務部長が行ってほしい。

次回は3月14日9時00分に開催する。